

Art Director

Michio Karuta

Lighting

Yuzio Nada

Sound Effect

作品介绍・あらすじ

Hiroshi Matsui

劇団主宰、徳田興人の処女作。

1977年、当時現役のタクシードライバーだった徳田が、勤務中の大事故（無免許トラックに追突された）で休職中に戯曲を書き、「うたかた公演」と銘打って一回限りのつもりで劇団（劇団男と女）を結成し、上演した作品である。（が、大当たりしてマスコミに取り上げられ、その後五年間劇団を続けることになった。）

劇団スタジオ・鏡（前・演劇舎徳田塾）結成後、15回も上演し続けてきており、また一連の贖作シリーズを生み出した、徳田興人の“原点”ともいえる作品である。

人間の孤独と哀しみを主人公（タクシードライバー）に託して描く物語。客のチンピラにからまれ、若い女にからかわれ、初老の教師にさげすまれた主人公は“怒り”を忘れてしまい、いつもニコニコと笑っているだけの運転手になってしまう。夫の顔に怒りの顔を取り戻させようと、運転手の妻は交番へかけ込んだのだが…。

Choreographer

DJAM TKI

Hiwako Harada

Manager

Cast Programs

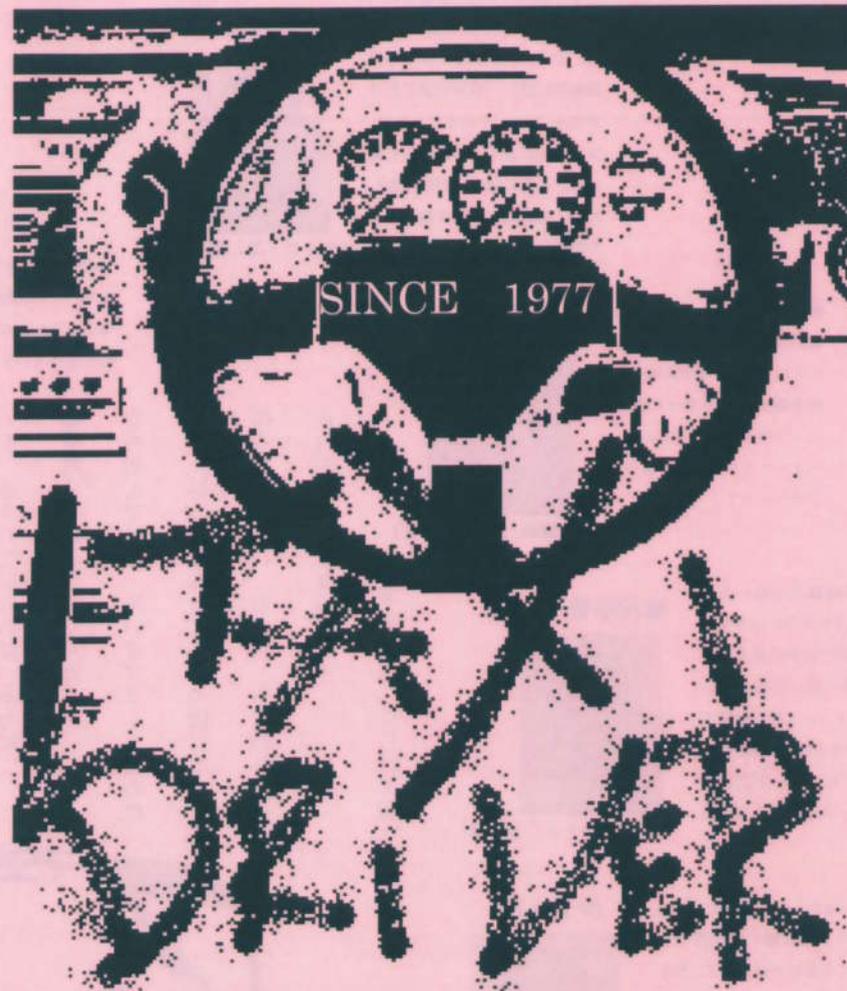
	籠かき	女客	婦警	看護婦
16日 19:00	歩上な奈・青木真理	鈴木知香	歩上な奈	藤井美賀
17日 14:30	歩上な奈・青木真理	鈴木知香	歩上な奈	藤井美賀
19:00	鈴木知香・青木真理	歩上な奈	鈴木知香	藤井美賀
18日 14:30	歩上な奈・青木真理	藤井美賀	歩上な奈	鈴木知香

劇団スタジオ・鏡



大阪市中央区日本橋1-20-12
廣岡ビル 3F

TEL 06-6646-1532 FAX06-6646-1539
e-mail studio-mirror@h2.dion.ne.jp



劇団スタジオ・鏡 第90回公演

2004.4	16(金)	17(土)	18(日)
14:30		●	●
19:00	●	●	

Produced by

KOJUN TOKUDA

12年前のタクシードラが私にとって初めてのタクシードラ出演でした。その大阪公演後に大きな交通事故に遭い、東京公演に行けませんでした。それから4年後、また舞台上に立てることになりました。右足に後遺症が残りましたが、舞台上でまた生きられることの感謝の気持ちを忘れずに頑張っています。

ユキヒロ



(ヤクザ・殺し屋)

稲 健二

(タクシードライバー)



1982年、鳥之内小劇場、そこで徳田興人が演じるタクシードラを見たのが、この芝居との出会いでした。あれから22年たっても色あせることないこの芝居で運転手役が出来ることに感謝しながら、毎日酔っ払っています。

藤井美賀



(女客・看護婦)

タクシーの中で一人泣き続けたことがある。運転手と喧嘩して途中で降りたことがある。爆睡して寝ぼけたことがある。酔い潰れたことがある。お金が足りなかったこともある・・・運転手さん、ごめんなさい・・・

鈴木知香は、倒い犬に手を噛まれケガをしたことがある。へえ～へえ～。子犬の時に顔を噛まれ正月早々に顔にバンソウコウを貼っていた。へえ～へえ～へえ～へえ～。20へえ～!!

鈴木知香



(女客・看護婦・娼女・籠かき)

この間不思議な出会いをしました。ホウボウという魚です。赤い体で前から見ると三角形+青く長い孔雀みたいなヒレ。ギョッ!彼?は頭ごと鍋で炒められ、見事に形もなくなりスープにされました。...何故か忘れられません。

植村早智子



(少女・ラーメン屋・妹)

疲れの影にすぎないのだ!
ゆられ ゆられ もまれ もまれた苦しさの
いや いや こんなにからっぽになるまで
心を包んでいた 薄いオブラートなのだ
いや、ゆられているのは 本当は
体をなくした心だけなんだ
夜は 夜で ランプを灯し
ふじむらさきに ひらき
しおれたかと思うと
また ゆりかえされ
からっぽが車にゆられ
僕? 僕とはね からっぽのことなのさ
はらわたもろとも客がさらっていった
心なんて汚らしいものは あるもんかい
そのうちに僕は こんなに透きとおってきた
ゆられ ゆられ もまれ もまれて

金子光晴作「くらげの唄」より

(^o^)/あ～やっとな春が来たあ～☆太陽の感じが気持ちよくな奈は大好きです。今年目標は動物園にゴリラを見に行くことです。な奈はゴリラが好きなんですよ～。超癒されます。皆さんも見てみて下さいね。

歩上な奈



(女客・娼女・籠かき)

劇団創立以来21年、通算16回目の「タクシードライバー」。おばあちゃん役も無理なく演じられるようになりました!今回は「さすらいのパパ」ファッションをリニューアルしようと思っています。乞うご期待!

丘野ユキ



(おばあちゃん・さすらいのパパ)

西野大作



(警官)

タクシードライバーの初演の年である1977年は、丁度僕の生まれた年です。また、僕の初舞台もこの「タクシードライバー」でした。それだけに強い思い入れのある作品です。今日は、ご来場ありがとうございました。

青木真理



(運転手の妻・籠かき)

この間タクシーに久々に乗りました。料金がかさんでいくのにドキドキして、やっぱり私は自転車派だなと思いました。信用できるものはお金と自分の足だと心底思いました。皆さん、♪お金は大事だよ～♪♪♪

枝木勇介



(少年・学生・兄)

春といえど陽気、陽気といえど僕は今年初の三役に挑戦です!こんな子供いそうとか、こんな学生見たことあるわみたいなのを前面に出して行きます!おかしな人達を楽しんで下さい(^o^)

村上博紀



入団一ヶ月目の新人です。今回の舞台では台詞はありませんが、二回だけ地味に登場していますので探してみてください。次は台詞を頂けるよう頑張りますので、密かに応援して頂ければ嬉しいです。宜しくお願い致します。



NEW FACE